

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「思い合い 助け合い 笑い合い」という事業所理念を掲げ、利用者・職員間・職員と利用者の関係・グループホームと家族間、グループホームと地域との関係の5つの関係性において、理念を実践できるよう取組んでいます。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	近隣住民の方々と顔を合わせた時には積極的に挨拶するようにしている。自治会に加入しており、地域の夏祭りや敬老会等に参加しています。	自治会主催の若葉クラブへの参加を通じて、短時間の地域住民との顔合わせ交流の機会が少しずつ増えてきており、今後も日常的に交流の輪を深めていただきたいご意見を頂戴する。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議は地域包括や自治会長にも参加いただいている。利用者状況や身体拘束適正化に向けての取組みを報告。地域交流を図り地域の一員としての話し合いを行っている。	運営推進会議に参加されている顔ぶれがいつも定着している為、事業所からご家族へ参加呼び掛けが課題。近隣グループホームとの情報共有を深めながら地域交流の取り組みを広く公開していく必要性を話し合う。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	大津市の認知症相談窓口事業に登録している。	自治会会長や晴嵐長寿あんしん相談所の地域包括の方から認知症に関する情報交換図れている。特に若年性認知症の情報共有が課題。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人全体で身体拘束ゼロを目標としており、内部における研修も実施されている。しかしながら左記の基準を職員全体が明確に理解出来ていないものの、当たり前を守られている人権である事は理解できている		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内にて研修もあり、参加し事業所内で伝達研修も行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

7	権利擁護に関する 制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内にて研修もあり、参加し事業所内で伝達研修も行っている。			
8	契約に関する説明 と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	十分な説明を行い、理解・納得出来るように努めている。			
9	運営に関する利用者、 家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者には直接的な言動の他、些細な変化からその思いをくみ取れるよう努めている。家族に対しては無記名の満足度調査を年1回実施している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
10	運営に関する職員 意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員に対しても、年1回の満足度調査を実施している。それ以外にも法人からのアンケート調査により、思いを伝えることは出来るようになっている。面談も実施している			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	力量評価を行い、適切に職員自身を見極めるように努め、その能力に応じて職務を担当させている。また、法人内でのキャリアパス研修において、職員の質の向上に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年2回の力量評価を行い、必要な研修においては内部、外部問わず受講を勧めている。また、法人内でのキャリアパス研修において職員の質の向上に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
13	同業者との交流を通じた 向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内では、研修や会議の場面における交流が図れるようになっている。外部では研修を通じての交流を図っている。			

14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症という状態ではあるが、なにより大切なのはその人らしさが尊重されることである。利用者と職員は、第一に人間同士としての関係性・信頼関係構築に努めている			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	馴染みの美容室、店への外出や故郷へのドライブや墓参り等の支援を行っている。家族に対しても、これらの理解をして貰えるようにその重要性を伝えている。	地域包括より、面会や外出の制限が解かれ地域住民同士の交流機会が増えている。今後地域ぐるみでのイベントや地域資源を活用しながら支援していく必要性を課題としている。		
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	アセスメントツールには独自のアセスメントシートを活用し、必要な情報収集に努めている。情報提供が受け入れられない場合本人の関わりの中から思いをくみ取っている			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人がどのように生活したいか？自然な会話の中から尋ねている。家族にはプラン実施後の結果を伝え、希望や要望を聞いている。また医療機関等の助言を頂き計画に活かしている。	施設や在宅共通して言える事として、状態変化に備えて緊急受診や搬送先のルートを明確にし介護計画やアセスメントが本人主体のニーズを汲み取った内容であると良い。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	プランの実行は記録に明記している。その記録やカンファレンスでの話し合いから、計画の見直しに活かしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居により利用者がGHの生活に合わせるのではなく、9人それぞれの生活があり、個々のニーズ合わせ支援に当たっている。それぞれに制度や人員基準に必ずしも対応出来ない事がある。	日常生活の場において、広報誌やSNS等の情報ツールを活用し、GHでの特徴を生かした取り組みをアピールし、本人の認知機能向上と身体機能の維持を図っていく。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域と共に暮らしていけるように、地域への行事に参加し顔馴染みになれるようにしているが地域交流の機会は減っている。	今までは人と人との繋がりが弱く、ボランティアを受け入れていく機会を設けること。また他施設との情報交換等外部との交流も良い刺激になるのではないかと意見いただく。		

21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	在宅時の往診を継続している方や協力医療機関からの往診医が二週間に一度の定期往診、及び必要に応じて単発的な往診を受けている。急変時は 24 時間体制での支援が受けられるようになっている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	病棟の相談員と情報交換をし、必要に応じて医師、看護師、作業療法士、理学療法士、家族、利用者、相談員、CM、GH管理者などで話し合いの場を持ち早期退院に努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	終末期と診断された場合、本人や家族の希望を踏まえ、できること・できないことを見極めながら、本人・家族・往診医・訪問看護師・職員で話し合い支援が可能と判断されれば支援する。また指針に基づき同意を得ている		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人にて救命講習が開催され、全職員の受講を目標に今年度も取り組んでいる。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	2ヶ月に一回の自主的な防災訓練を行い、年に2回は消防署立会いのもとでの訓練を行っている。	今年度は消防署での研修会や地域の自主防災訓練にも参加。事業所内での自主訓練も大事であるが、火災発生時の近隣住民へ避難の協力と水害対策もしっかり立てて欲しい意見をいただく。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症である前に一人の人間であるという当たり前の理解を忘れないよう意識し、その人らしさに配慮した対応を心掛けている		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりのペースや希望に沿った支援を心掛けているが業務に追われていることも多い。			

28	食事を楽しむこと のできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食材注文時は広告を見ながら一緒に考えたり、買い物に出掛けメニューを共に考え、調理、盛り付け等一緒に行っている。食器洗い・拭きも体調考え行っている		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事摂取は、その摂取量をチェックシートに記録している。箸の使用が難しい方にはスプーンを使用して貰ったり、言語聴覚士の指導で食事形態の変更も行っている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	それぞれの力に応じて口腔ケアの支援を行っている。週1回往診時に歯科医師や衛生士の協力をえながら日々の口腔ケアにあたっている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介助を要する方はもとより、一人ひとりの排泄パターンを把握し、日中はトイレ誘導、夜間はポータブルトイレなど力に合わせた排泄介助を支援している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人のタイミングで入浴できるよう努めているが、前日に入っていない方から声掛けをしている為、全ての思いに答える事は出来ない現状にある。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その日の体調や状況、習慣に合わせ声掛けをしたり、本人のペースに合わせ休息したり、良眠できるよう支援している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬の説明書は全職員が必ず確認するようにしており、その理解に努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	出来ること・出来ないことを把握し、出来ることは継続して行えるよう、出来ないことはどこまで出来るのかを見極めた上で支援を行い、楽しみが増えるよう働きかけている	グループホームの小規模施設ならではの関わりやコミュニケーションの充実を図りながら、利用者に役割を持って貰う事で日々の生活にやりがいや自信を持って支援継続してゆければ良い。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	出きる限り希望に沿った外出が出来るよう支援しているが、人力的な理由などにより、全ての希望添えているとはいえない。	ご家族と一緒に公園を散歩している姿を拝見している。地域には公園やお花畑等利用者の散歩コースが充実している。今後外出機会を増やし近隣の高齢者同士の交流を深めていく。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	認知症状の進行により、金銭管理が困難な利用者多い現状にある。買い物など本人の希望・力に応じて支援出来るように努めていく必要がある。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の希望に応じ、支援が必要な場合は対応を行っている。			
39	居心地のよい共有空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	共有空間については季節の飾り物や、花など生活感のある空間作りに努めている。利用者に合わせて大きくなりがちなTVの音量にも配慮するよう心掛けている。ハード面では限りがあるが、リビングでの席など共有空間での居場所作りを大切にしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
Ⅳ. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	家庭内で培われた馴染みの環境が集団生活の中で、自由自在に活かされていない状況にある。本人の思いに沿った暮らしの実現を目指す事が課題となっている。			

41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	アセスメント情報を元に、ADLを低下させない為の生活歴や既往歴をそのまま維持・支援出来るようスタッフ間で調整しケアに活かす事が課題である			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の医療面に関しては、安全に配慮し医療職と連携を図りながら対応している。また家族の意向も受け入れながら支援に当たっている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	集団生活の中で本人のペースに合わせた暮らしの実現には課題があり、アセスメントしながらケア実現を図っている。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活歴を情報収集し、本人の好みの衣装やお位牌、アルバム等大切にしているものを日常生活の中で共有し関わりの充実を図っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	現状認知症状重度の利用者が多く、本人の意向や希望が汲みとりにくく、戸外への外出や行事への参加には至っていない。	ご家族から外出行事の取り組みが少ない意見あり。自治会より、地域や町ぐるみの行事も増えている為、高齢者の楽しみに繋がる催し物を今後計画して行きたい意見をいただく。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができています	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の状態観察を行いながら、家事やレクリエーションを通じて本人の意向を伺い遣り甲斐を感じながら役割を演じて貰えるよう働きかけ行っている。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができています	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日の日課となっているテレビ体操や利用者同士で歌を唄ったり等お互いの会話が盛り上げられるよう、また楽しみが持てるような雰囲気作りを大切にしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々に関わったり、交流することができている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	開所当時から自治会の「ふれあいサロン」や「よし笛」のボランティアを招き交流の機会を増やしている。	よし笛ボランティア主催コンサートの再開により、年間4回計画している。自治会より、市民センターにおいてボランティアの楽器を用いた演奏会も月々の広報で案内しているので参加呼びかけいただく。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができる	A. 充分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者ひとり一人が安心して日常生活を笑顔で楽しみながら送られている点において、外出機会や地域交流の激減で支援出来ない状況にあり課題となっている。	他施設の運営推進会議の場において、地域資源の活用に悩みを抱えている事業所が多い現状にある。利用者の日々の暮らしの充実を図る意味で地域ケア会議参加や GH 同士の情報共有に繋げていければとの意見いただく。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	